

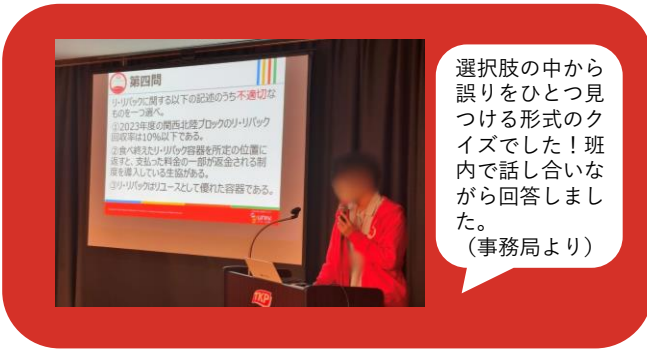
関西北陸ブロック ブロック学生委員会#4・議案検討会議

概要

日程：2024年10月26日（土）10:00-16:30
 場所：TKPガーデンシティ新大阪バンケット6A・バンケット6B

参加者（午前・午後合算）

富山大(3)、富県大(2)、福井大(2)、京都大(2)、同志社(2)、立命館(5)、
 京府大(1)、龍谷大(3)、京教大(2)、京工織(1)、奈良女(3)、奈良教(1)、
 奈良大(2)、奈高専(2)、滋県大(6)、滋賀大(2)、大経大(2)、近畿大(3)、
 阪南大(3)、大阪大(2)、阪電通(2)、関学大(2)、兵庫県大(5)、
 事業連合(4)、コープ共済連(1)、連合会(5)、ブロック(37) 計23会員105名



選択肢の中から誤りをひとつ見つける形式のクイズでした！班内で話し合いながら回答しました。（事務局より）

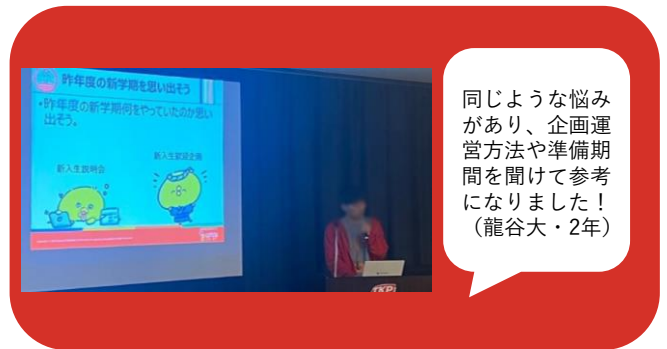
01 アイスブレイク 大学生協×クイズ

今回のアイスブレイクでは大学生協について学ぶことができる「班対抗生協クイズ」を実施しました。クイズの内容は理事会や総会・総代会、会員の教訓的な取り組みやリ・リパックなど多岐に渡り、班内で緊張をほぐしながら、みんなで考えることができました。また、各設問終了後にはブロックニュースや実際に学生委員会が作った企画のSNS投稿を用いながら、参考事例として取り組みを紹介しました。

02 新学期に向けて

新学期活動に向けて問題解決！

以前までは基幹会議で新学期活動について話す時には、もうすでに新学期活動が始まっていて、新しい考えなどを取り入れる時間があまりありませんでした。そこで、今年の活動を通して生じた課題点に関して、似た規模感の会員で話し合いました。多くの会員で参考になる考え方を得ることができたようで、来年度の活動を集約するのが楽しみです。

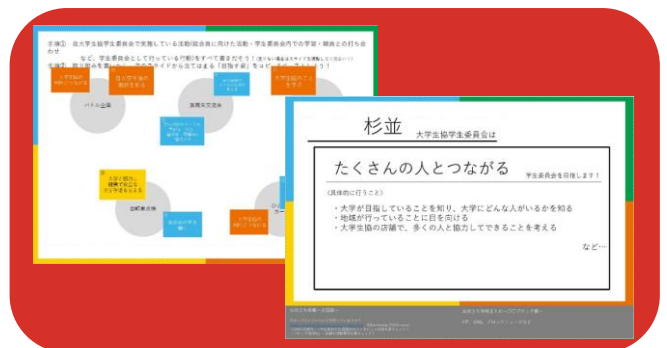


同じような悩みがあり、企画運営方法や準備期間を聞いて参考になりました！（龍谷大・2年）

03 学生委員会マッピング

この1年、何ができた？

皆さん、学生委員会マッピングはご存じでしょうか。学生委員会の取り組みを振り返ることで、学生委員会の存在意義や大学生協ができることを考えるためのツールです。関西北陸ブロックの学生委員も、新学期活動や総会・総代会の運営など、1年間を通して様々な取り組みを行ってきました。そこで、皆さんの頑張りを学生委員会マッピングを用いて学生委員同士で交流しました。



「こんな取り組みができるとは知らなかった。」「面白い取り組みを知ることができた。」という声が多く聞こえ、学生委員会の活動の幅に広がりを感じている出席者が多くいました。

他大学の学生委員会の活動と比較することで、自大学の学生委員会の強みやもっと頑張れることを見出すことができます。ぜひ、今回の学生委員会マッピングを通して知った様々な事例から感じたものを大切にいきましょう。そして、自大学生協に帰ってからは、2024年にできたこととできなかったことを洗い出し、2025年を自身の所属する大学生協にとってどのような1年にするか考える機会を作ってみましょう。



自大学生協の取り組みがどれだけあるのかはしれました。他と比べてここが凄い！を見つけることが出来ました。(京都橘・2年)

04 ブロック大会に向けて

皆は何を意識して参加する？

この時間では12/7に行われるブロック大会の説明と、参加者の方々がどんな取り組みを知りたいか、自大学ではどんな取り組みを共有したいかを中心にお話してもらいました。各会員で状況は違えど、年末に一堂に会してたくさん交流ができる機会。皆が意識したい視点を考えてブロック大会への参加の意欲を高めていました。



目標を立てることができたので良かった。ブロック大会が有意義な時間になりそう。(福井大・2年)

05 議案検討会議

24年度の活動を振り返り、25年度方針をつくる！

12月に開催する全国大学生協連の総会で議決される議案の「第一次案」をもとに、取り組みを振り返り、どんな想いで取り組みを実施し、組合員がどう変わったかを話合いました！そして25年度に実施したい取り組みをもとに、25年度の全国方針に対する考えを深めました。

学生や生協職員だけでなく、教職員も一緒になって方針の検討をすることができました。



次回のブロック学生委員会は
2025年2月の予定！

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [浦田 行紘]
Urata.Yukihiko@univ.coop

